

企業ステートメント

クラレグループ行動規範

クラレグループ人権方針

トップステートメント

サステナビリティ長期ビジョン・サステナビリティ中期計画

クラレグループのマテリアリティ

Planet

環境マネジメント

地球温暖化防止

環境負荷低減の取り組み

環境会計

環境データ

サステナビリティ中期計画

Planet

Product

People

ガバナンス

GRIスタンダード対照表 (内容索引)

クラレレポート (統合報告書) / サステナビリティウェブサイト

ランドセルは海を越えて

イニシアティブ

Planet

「PASSION 2026」期間中の重点施策目標と2024年度の実績

Planet	GHG排出量	ベンチマーク	2024年度		2025年度	2026年度	2027年以降
			目標	実績	目標	中期計画	中長期計画
Planet	GHG排出量	Scope 1, 2	2021年排出量 3,020千トン-CO ₂	3,020千トン-CO ₂ 以下	2,868千トン-CO ₂	3,020千トン-CO ₂ 以下	2027年以降 中長期計画 2035年：2021年比 63%削減 2050年：ネットゼロ
		Scope 3(カテゴリー1)	2021年排出量 2,941千トン-CO ₂	-グループ全体で2/3以上を占める排出源を特定 -2024年・2026年の削減数値目標を策定	-グループ全体で2/3以上を占める排出源を「カテゴリー1」と特定 -カテゴリー1の削減目標を策定	-	2035年：2021年比 37.5%削減

環境マネジメント



地球温暖化防止



環境負荷低減の取り組み



環境会計



環境データ



サステナビリティ中期計画 Planet



環境会計

- 当該期間の投資額総計：312億円
- 当該期間の研究開発費総計：152億円

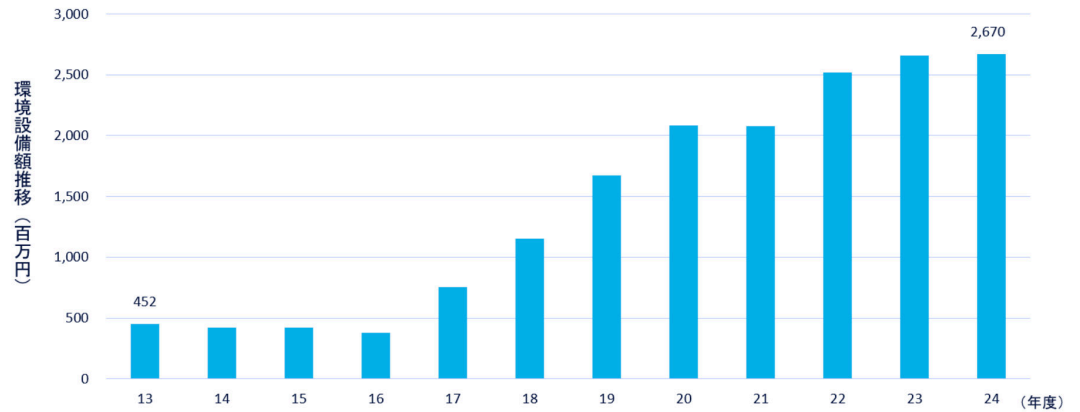
環境保全コスト (百万円)

分類	投資額	費用額	主な内容
事業所エリア内コスト	1,845	2,132	環境設備運転費用、有害化学物質処理費用
地球環境保全コスト	27	47	省エネ活動費用
資源循環コスト	588	573	リサイクル費用、廃棄物処理費用
計	2,460	2,752	
上・下流コスト	-	84	梱包材料の回収・再利用、容器包装の改良
管理活動コスト	64	148	ISO14001、環境測定、環境教育
研究開発コスト	146	122	環境配慮型製品の開発
社会活動コスト	-	0	緑化、美化、地域住民への環境情報提供
環境損傷コスト※	-	-	

合計	2,670	3,105	
----	-------	-------	--

※ 境損傷コストは公害防止コストに含む

環境設備投資額推移



【ご注意】 会計年度変更に伴い、本レポートにおける環境関連データはグラフも含め次のとおりとなっています。

- 2013年度以前：4月-3月の12ヶ月実績
- 2014年度：4月-12月の9ヶ月実績+2014年1月-3月実績（または推定値）（2013年度と重複しています）
- 2015年度以降：1月-12月の12ヶ月実績

環境保全効果（クラレ）

区分		単位	2022年度	2023年度 ¹⁾	2024年度 ²⁾	増減 2)-1)
公害防止活動	SOx排出量	トン	338	440	510	70
	NOx排出量	トン	1,497	998	1,184	186
	ばいじん排出量	トン	44	34	95	61
	化学物質排出量 ^{※1}	トン	774	671	602	▲69
	COD負荷量	トン	468	414	433	19
地球環境保全活動	温室効果ガス排出量	千トン- CO ₂	1,227	1,136	1,179	43
	エネルギー使用量	千KL (原油換算)	425	390	412	22
資源循環活動	廃棄物非有効利用外部処分量	トン	1,960	1,849	1,301	▲548
	廃棄物有効利用率	%	96.3	95.8	97.1	1.3

水資源使用量※2	百万m ³	67	61	63	2
総排水量※2	百万m ³	62	54	57	3

※1 PRTR法対象物質および日化協指定物質

※2 海水除く

環境データについての詳細は下記ページをご覧ください。

[> 環境データ](#)

①環境会計の集計に当たっての前提条件

- 対象期間：2024年1月1日～2024年12月31日
- 対象範囲：クラレ

②環境保全コストの算定基準

- 減価償却費：定額法
- 複合コストの計上基準：原則100%環境保全項目に計上していますが、一部按分集計しています。

③環境保全効果の算定基準

- 前年度環境負荷総量との比較により算出。なお、生産量調整は行わず、前年度との単純比較です。

④環境保全対策に伴う経済効果の算定基準

- 実質的效果としてリサイクル収入などを把握していますが、環境保全コストをマイナス処理しています。